

安藤博 旧制中学の時に多極真空管を発明し、日本のエレクトロニクスを開拓した天才的技術者。

あんどうひろし

教科書疑獄・1902 = 滋賀県膳所で、徳川幕府旗本の家系で東京美術学校の建築科出の内務省技官安藤時蔵の長男に生まれる。

日露戦争終・1905 = 3歳：

伊藤博文暗殺1909 = 7歳：小学校入学の年、_世界で初めて無線通信を成功させたイタリアのマルコーニのノーベル賞が話題となり、

大逆事件判決1911 = **9歳**：

明治天皇没・1912 = 10歳：日本で逓信省電気試験所の鳥潟右一を中心とする3人がTYK式無線電話機を開発し、世界初の公衆無線電話の実験に成功した年、タイタニック号の遭難事故にマルコーニの無線通信機がSOS信号を発して多くの乗客が救助されたことが報じられ、マルコーニの世界的な評価が高まったことから、無線通信に興味を抱き、マルコーニの伝記を読み、さらにエジソンの伝記も読んで、発明家になろうと決意。

民本主義・・1916 = 14歳：鳥潟の出版した「鳥潟無線電信電話」を読むといてもたってもいられず、逓信省庁舎に押し掛け、読者として面会を申し入れると、快く応じてくれ、その知遇を得る。

ロシア革命・1917 = 15歳：卒業し、明治学院中学校に入学。

本格政党内閣1918 = 16歳：***早くも「多極真空管」を発明し、**

ベルサイユ条約・1919 = 17歳：**特許を出願。新聞で世紀のビッグニュースとして大々的に取り上げられ、**

大暴落・・・1920 = **18歳**：卒業し、早稲田大学理工学部予科に入学。

原敬首相暗殺1921 = 19歳：逓信省から日本初の私設無線電信電話実験局の設置を許可され、

水平社結成・1922 = 20歳：大学出版部から_著書「無線電話」を刊行、このなかで英語のbroadcastに初めて"放送"という訳語をつける。鳥潟が書いてくれた序文で"第二のマルコーニ"と称賛され、大ベストセラーとなり、大金を手に入ると、憧れの発明家らに会おうと海外旅行に出、まずアメリカでエジソンと会見。「ニュートロダイン回路」発明。

関東大震災・1923 = 21歳：卒業後も、_どの組織にも属さず、在野の研究者の道を歩み、

治安維持法・1925 = 23歳：**欧米視察旅行に出、イギリスでマルコーニと会見、**

共産党事件・1928 = 26歳：**写真誌「アサヒグラフ」に会見記を書く。**

世界恐慌・・1929 = **27歳**：

満州事変・・1931 = 29歳：この頃、特許使用料を払いたくないラジオ製造業者が連合して安藤を悪者に仕立て上げる騒動があったが、松下幸之助が二万五千円もの大金で特許を買い取り、業者に無償で提供、全てが満足な結果となった。

「多極真空管」は通信機器などの性能の飛躍に貢献、ラジオやテレビの心臓部に搭載されるなどして家庭に普及したほか、「二次電子増幅管」や「同期検定装置」に至るまで生涯に1000以上の特許を取得。

日中戦争始・1937 = 35歳：

健保+総動員 1938 = **36歳**：テレビアンテナ発明者八木秀次やファクシミリ発明者丹羽保次郎らの賛同を得て、***エレクトロニクス研究者を育成すべく、日本初の発明研究の財団法人{安藤研究所}を設立。**

第二次大戦始1939 = 37歳：***{本邦十大発明家}の一人に選ばれ、宮中に招かれる。唯一人無位無官のフリーランスの発明家だった。**

日米開戦・・1941 = 39歳：

敗戦・・・1945 = 43歳：***東京大空襲で研究資産全てを失い、以後、困難。**

新憲法施行・1947 = **45歳**：

再建に努め、

独立回復・・1951 = 49歳：

メテ-事件・1952 = 50歳：テレビ放送実施に先立ち、テレビ技術の先駆者として、八木らと電波基準制定などに参画、

自衛隊発足・1954 = 52歳：**藍綬褒章。**

国連加盟・・1956 = **54歳**：

安保闘争・・1960 = 58歳：

大学紛争始・1965 = **63歳**：

美濃部都知事1967 = 65歳：月刊誌(文芸春秋)の特集"世紀の巨星三十人会見記"で、エジソンと会った時の思い出を書く。

石油ショック1973 = 71歳：

角栄金脈辞任1974 = **72歳**：

アラブ-ル事件1975 = 73歳：**_研究所で実験中、偶発的に起きた火災に巻き込まれて、没した。**

上山明博「技術者という生き方」、インターネット、